

## 平成 15 年度班会議プログラム

12 : 30～12 : 35 開会の辞

12 : 35～12 : 45 厚生労働省 挨拶

12 : 45～ 研究発表

1. 12 : 45～13 : 05

アナログペプチドによる抗原特異的免疫分子制御法の開発に関する研究

筑波大学臨床医学系内科 住田 孝之

2. 13 : 05～13 : 25

自己抗原と T 細胞抑制性分子を発現する ES-DC による EAE の発症予防

熊本大学大学院医学薬学研究部免疫識別学分野 西村 泰治

3. 13 : 25～13 : 45

多発性筋炎の自己抗原同定とモデルマウス作成に関する研究

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体応答調節学 上阪 等

4. 13 : 45～14 : 05

T細胞レセプター遺伝子移入による免疫応答改変操作法の開発

東京大学大学院医学系研究科アレルギーリウマチ学 山本 一彦

… … … コーヒーブレイク 14 : 05～14 : 20 … … …

5. 14 : 20～14 : 40

MRL/Mp-*Fas*<sup>pr</sup> マウスにおける自己反応性 Th1 細胞ワクチネーションに関する研究

京都大学大学院医学研究科臨床免疫学 三森 経世

6. 14 : 40～15 : 00

新しい調節性 T 細胞 (V $\alpha$ 7.2-J $\alpha$ 33 invariant Tcells) の多発性硬化症における役割に関する研究

国立精神・神経センター神経研究所免疫研究部 山村 隆

7. 15:00~15:20

GPI と自己抗体制御に関する研究

筑波大学臨床医学系内科 松本 功

8. 15:20~15:40

$\beta$ 2 グリコプロテイン I の新たな生物学的意義 ; ニック  $\beta$ 2 GPI

北海道大学大学院医学研究科病態制御学 小池 隆夫

15:40~15:45 閉会の辞

20030816

以降は雑誌/図書に掲載された論文となりますので、  
P.43-55の「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。